

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公表番号】特表2008-510849(P2008-510849A)

【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-014

【出願番号】特願2007-528003(P2007-528003)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/67 (2006.01)

C 0 8 G 18/66 (2006.01)

C 0 8 G 18/81 (2006.01)

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

C 0 9 J 175/14 (2006.01)

C 0 9 D 175/14 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/67

C 0 8 G 18/66 Z

C 0 8 G 18/81

C 0 8 J 7/04 C E R Z

C 0 8 J 7/04 C E Z

C 0 9 J 175/14

C 0 9 D 175/14

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月18日(2008.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イソシアネート反応性成分と、  
ジアセチレン含有イソシアネート反応性成分と、  
イソシアネート官能性成分と、  
反応性乳化化合物と、  
任意の触媒と、  
任意の連鎖延長剤と、

の反応生成物を含むジアセチレン含有ポリマー。

【請求項 2】

ポリウレタン系ポリジアセチレン含有ポリマーを調製する方法であって、  
イソシアネート反応性成分を提供する工程と、  
ジアセチレン含有イソシアネート反応性成分を提供する工程と、  
イソシアネート官能性成分を提供する工程と、  
反応性乳化化合物を提供する工程と、

任意に触媒を提供する工程と、

前記イソシアネート反応性成分、前記ジアセチレン含有成分、前記イソシアネート官能性成分、前記反応性乳化化合物および前記任意の触媒を反応させて、ジアセチレン含有ポリウレタンプレポリマーを形成する工程と、  
前記プレポリマーを連鎖延長する工程と、  
を含む方法。

【請求項 3】

ウレタン連結およびウレア連結、ジアセチレンセグメントおよび反応性乳化セグメントを含み、水分散性であるジアセチレン含有ポリウレタン系セグメント化コポリマー。